

結 果 の 要 約

1 富山県の15歳以上人口961,241人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は604,651人で、前回調査の平成12年に比べ14,374人、2.3%減少している。男女別にみると、男性は341,667人、女性は262,984人で、平成12年に比べ男性は2.8%、女性は1.6%それぞれ減少している。

労働力率()は63.5%で、平成12年に比べ0.9ポイント低下している。また、男性の労働力率は75.5%、女性の労働力率は52.6%で、平成12年に比べ男性は1.4ポイント、女性は0.5ポイントそれぞれ低下している。

()15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は578,051人で、平成12年に比べ19,651人、3.3%減少している。男女別にみると、男性は323,939人、女性は254,112人で、平成12年に比べ男性は4.2%、女性は2.1%それぞれ減少している。また、65歳以上の就業者数は56,547人(就業者数の9.8%)で、平成12年に比べ4.4%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は487,398人(就業者数の84.3%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は61,703人(同10.7%)、家族従業者は28,907人(同5.0%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は0.6ポイント上昇、自営業主は0.3ポイント低下、家族従業者は0.3ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「製造業」が141,534人(就業者数の24.5%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」が98,692人(同17.1%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が73,742人(同12.8%)、「建設業」が58,975人(同10.2%)、「医療、福祉」が52,553人(同9.1%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は41.2時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ43.6時間、29.0時間、役員は44.5時間、雇人のある業主は47.6時間、雇人のない業主は36.9時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は143,032世帯(夫婦のいる一般世帯252,851世帯の56.6%)で、平成12年に比べ4,636世帯、3.1%減少している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は105,033世帯(同41.5%)で、平成12年に比べ5,762世帯、5.2%減少している。

7 県内に在住する外国人就業者数は6,989人で、平成12年に比べ2,405人、52.5%増加している。

図1 富山県の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

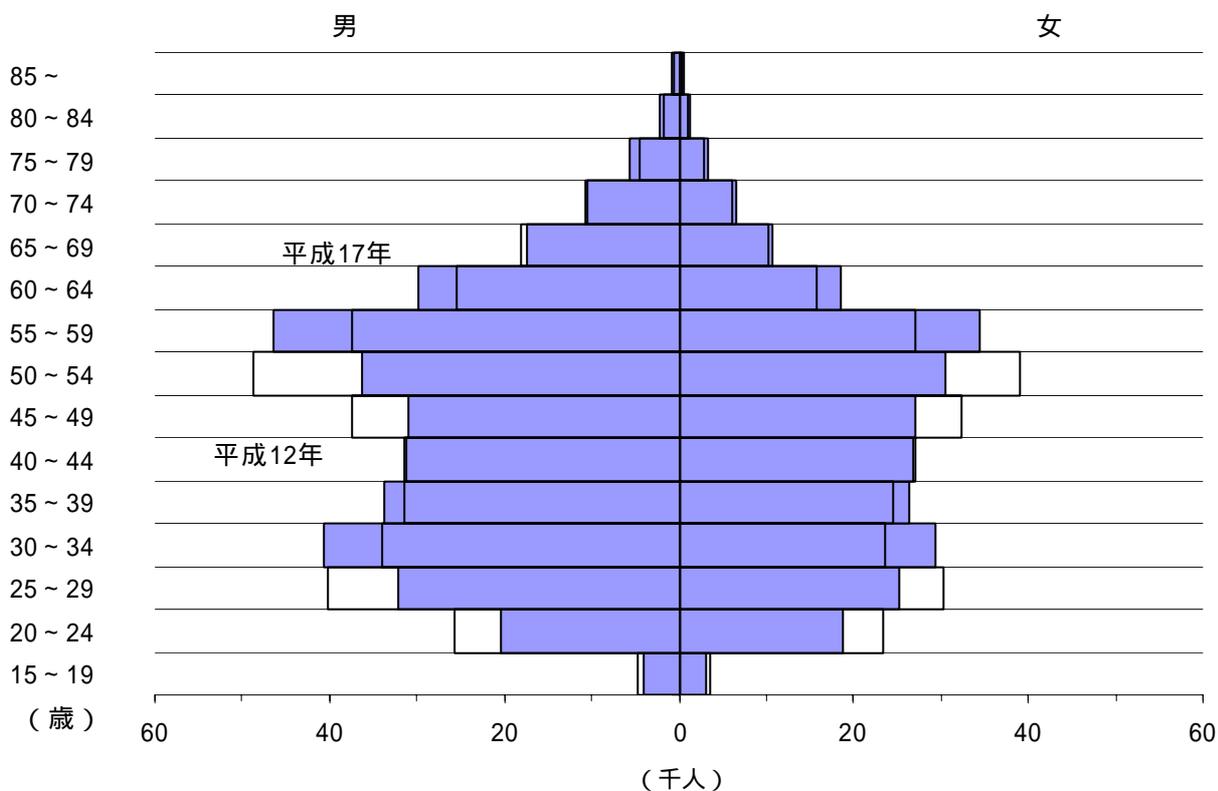
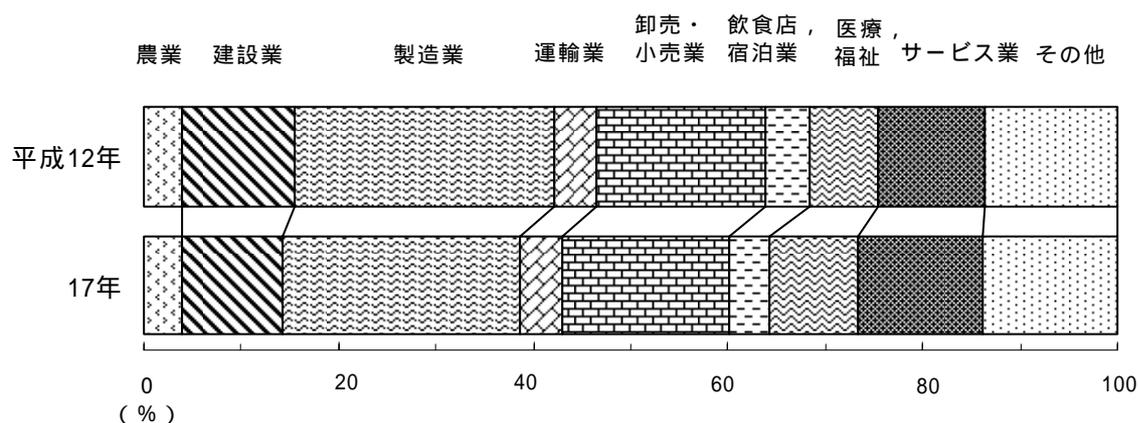


図2 富山県の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



(注1) 「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務(他に分類されないもの)」及び「分類不能の産業」である。

(注2) 平成12年は、日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。